2025 年度事業報告について

令和７年４月１日～令和８年３月３１日

特定非営利活動法人グリーンパパプロジェクト

１．事業の成果

特定非営利活動法人グリーンパパプロジェクトは、2025 年度の事業として、子育て支援事業に位置付けている、放課後児童クラブを経営の柱に、父子・家族自然体験事業のトライアル合宿、都市・地方交流促進事業として参画する「笠原のんびり市」などのイベント出店、講習会・イベント開催事業としてのいも掘りなどの農体験事業、そして、新たに拡充した子育て支援事業としてこどもの居場所事業「みんなのほっとプレイスよつば」を展開した。

鴻巣市から業務委託を受けて運営している放課後児童クラブ「南よつばの願い学童」（民設民営）、2024 年度から運営している「鴻巣市立南放課後児童クラブ」（公設民営）――の２施設の体制になり、２年目となった。両施設合わせて約 100 名の子どもたちを預かる中で、常勤スタッフを中心に体制を強化し、安心・安全な保育環境を展開することができた。通常の保育の充実に加えて、遠足の実施、保護者との交流事業などの自主事業にも取り組んだ。特に、独自の保育料徴収となった南よつばの願い学童については、さらなる付加価値を形にしながら、地域に根差した施設として邁進している。ただ、補助金の一部が活用できなくなるなど、人件費等の経費の改善も必要となっている。

トライアル合宿は３回実施できた。集客は 10 名程度をキープし、新規の参加者もあった。また、じゃがいも掘りやさつまいも掘りなどの農体験イベントを通した交流も予定通り実施できた。菊水堂のポテトチップスによる社会貢献事業にも参画し、ひとり親支援などに活用することができた。

こどもの居場所事業は９月から「みんなのほっとプレイスよつば」として回数を増やして実施している。中高生限定の「ユースプレイスよつば」（水曜夜月２回、金曜夜月２回）、親子向けの「おやこ SPOT よつば」（月１回）、パパ子向けの「ぱぱの場よつば」（月１回）を展開し、拡充前と合わせて、延べ約 350 名が参加をした。

その他の活動については、クラフトビールを活用した交流事業などに協力するなど、地域活性化に向けた取り組みも展開することができた。

２．事業の実施に関する事項

定款の事業名	事　業　内　容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数		支出額（千円）
父子・家族自然体験事業	トライアル合宿	４月	長野県佐久市	３人	父子または家族	11 人	121
		６月	長野県佐久市	３人	父子または家族	13 人	72
		１０月	長野県佐久市	３人	父子または家族	19 人	122
都市・地方交流促進事業	笠原のんびり市	４月、１１月	埼玉県鴻巣市	８人	不特定多数	250 人	31
	都市・地方パパの交流会	実施せず	東京都	０人	子育て中の父親	０人	0
講習会・イベント開催事業	じゃがいも掘り	６月	埼玉県鴻巣市	５人	父子または家族	８組 30 人	45
	さつまいも掘り	１１月	埼玉県鴻巣市	５人	父子または家族	５組 20 人	3
	BEER Flight	２月	埼玉県鴻巣市	２人	不特定多数	１０人	30
	じゃがいも植えつけ	３月	埼玉県鴻巣市	２人	父子または家族	１１人	3
	講演及び原稿執筆	随時		１人	不特定多数		0
子育て支援事業	放課後児童クラブの運営	通年	埼玉県鴻巣市	22 人	子育て世帯	200 人	56818
	こどもの居場所事業	通年	埼玉県鴻巣市	10 人	子育て世帯	344 人	361

〇父子・家族自然体験事業

１） トライアル合宿

２０２５年度は、４・６・１０月の計３回実施した。のべ４３名が参加した。

【春】4/19-20　参加者 11 名





【初夏】6/14-15　参加者 12 名









【秋】10/25-26　19 名






〇都市・地方交流促進事業

１）地方紹介イベント

【笠原のんびり市】　　4/29　おにぎり・ドリンク販売（左）

11/23　おにぎり・野菜　　販売（右）




２）都市・地方パパの交流会　　未実施

〇講習会・イベント開催事業

【農体験事業】

・パパ・ママ・こども集まれ！「ポテチ用ジャガイモを育てよう！」

6/22　８組　３０名













・「パパ子でハッスル！芋掘り大会 2025」

11/2　５組　２０名









【BEER Flight　第５弾】　　2/11　１１名





○周知啓発事業

１）ホームページによる周知啓発

ホームページ上にて、団体概要の紹介、イベント告知、入会・問い合わせ受付等のコンテンツ情報の発信を行った。こどもの居場所事業を強化したこともあり、特に Instagram による発信に力を入れ、リールを活用してより幅広い世代にリーチするように努めている。そのほか、Facebook や LINE 公式アカウントなどのＳＮＳも活用し、情報の多角化も進めている。

２）講座・講演及び原稿執筆

【講座・講演】

・7/8　埼玉県共助社会づくり課「ひろがるつながる社会貢献活動　第１回交流会」
「地域でできるこれからの『こども・子育て支援』のカタチ」

・10/23　埼玉県共助社会づくり課「第２回交流会」ファシリテーター

・10/30　北里大学看護専門学校　「家族看護学」特別講義
「父親から見た子育ての現状」

・11/11　杏林大学特別講義
「父親から見た子育ての現状」

・1/31　はあと多摩　第２回シングルパパの会
「『シングルパパの仕事と子育て』～どうバランスをとっていますか？～」

【委員・原稿執筆・コメント協力】

・こども家庭庁「はじめの 100 か月の育ちビジョン」地域コーディネーター養成事業
HP：
https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/9cc9d578-c982-4f6e-8c14-cc67a0bcf4f0/8db27973/20260409_policies_kodomo_sodachi_coordinator_09.pdf

事業運営委員からのメッセージ



NPO法人グリーンパパプロジェクト　代表理事
吉田 大樹

2年目を迎えた地域コーディネーター養成事業では、受託団体として企業・団体のほか自治体も加わり、より多様な事業展開が見受けられた。受託団体がこれまで蓄積してきたノウハウやスキルを生かし、『はじめの100か月の育ちビジョン』が目指している「こどもの育ちを支える環境や社会の厚みを増す」ことを実現するため、地域資源や地域人材を活用・動員して受託団体や地域コーディネーターの皆さんが実践する姿は、どの事例をとっても評価できるものであった。そして、前年度以上に洗練された活動事例を目の当たりにすることもできた。

その中で、受託団体や地域コーディネーターが果たす役割について、事業を展開する上での事例のタイプが具体化され、今後のさらなる展望が見えてきた。今後は、モデル事業としてこれまで実践されてきた様々な活動事例の横展開が図られるとともに、これまで地域のこども・子育て分野にあまり関わりが持てていなかった企業・団体に加えて、例えばまちづくりに積極的に取り組んでいる活動などとも連携を深めていくことなど、「厚みを増す」ことへのさらなる深化を追求してもらいたい。

出典：令和 7 年度「はじめの 100 か月の育ちビジョン」地域コーディネーター養成事業 モデル事例集

３）その他

【こども家庭庁】

・こども家庭審議会 幼児期までのこどもの育ち部会
第２回こどもの預かりサービスの在り方に関する専門委員会（12/24）

・「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン」策定後の具体的な取組推進（地域等の特色を活かし具体的活動を推進する人材養成に係る先進事例の創出）に係る委託事業一式に関する企画審査委員

・「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン」策定後の具体的な取組推進（科学的知見の充実・普及に向けた調査研究(こどもに関わる専門職による「はじめの 100 か月ビジョン」の推進)）に係る委託事業一式に関する技術審査委員

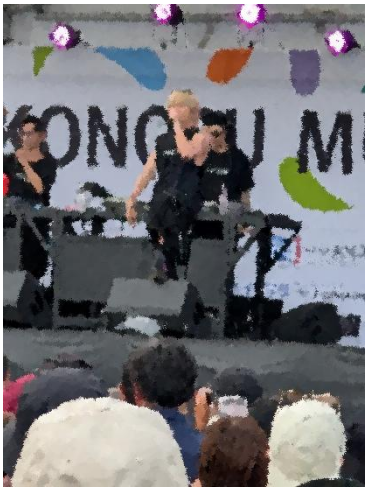
【東京都】

・東京都子供・子育て会議
第 33 回（7/28）、第 34 回（11/7）、第 35 回（1/22）

【鴻巣市】

・鴻巣市男女共同参画審議会
7/31、1/30

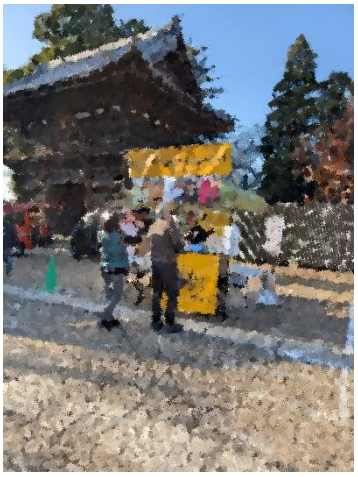
【KONOSU MUSIC FESTIVAL　協賛】8/9





【寺ビール祭 in 勝願寺 2025　協賛】11/30







○子育て支援事業

1）放課後児童クラブ事業

民設民営の放課後児童クラブ「南よつばの願い学童」（定員 72 名）が７年目となり、開室 025 年春に開室当時の１年生が卒業を迎えた。さらに、24 年度より始まった同じ鴻巣市立鴻巣南小学校区の「鴻巣市立南放課後児童クラブ」（指定管理者、定員 40 名）の運営が２年目となり、地域の子どもたちの居場所として２施設を運営する形となった。各施設で工夫しながら通常の保育の質の向上を図るほか、学童遠足などのイベントも実施し、子どもたちの成長と日々向き合いながら、安心・安全な保育を提供することができた。

・年間開室日数	＜南よつばの願い学童１＞	２８５日（前年３１３日）
	＜南よつばの願い学童２＞	２８６日（前年２６６日）
	＜南放課後児童クラブ＞	２５４日（前年２５２日）
・月平均の利用児童数	＜南よつばの願い学童１＞	３３名
	＜南よつばの願い学童２＞	２９名
	＜南放課後児童クラブ＞	３７名
・１日あたり利用児童数	＜南よつばの願い学童１＞	平日 24.31 日　土曜 5.28 日
	（前年	平日 26.73 日　土曜 3.24 日）
	＜南よつばの願い学童２＞	平日 21.15 日　土曜 2.39 日
	（前年	平日 27.29 日　土曜 1.80 日）
	＜南放課後児童クラブ＞	平日 24.52 日　土曜 0.69 日
	（前年	平日 22.16 日　土曜 0.73 日）

・主な行事

＜南よつばの願い学童１・２＞

４月	●新入生歓迎会 ●手作りおやつ	１０月	●宿泊保育（加須げんきプラザ） ●手作りおやつ
５月	●手作りおやつ	１１月	●バス遠足（ぐんまこどもの国） ●手作りおやつ
６月	●手作りおやつ	１２月	●お楽しみ会 ●避難訓練 ●手作りおやつ
７月	●お楽しみ会 ●保護者会 ●避難訓練 ●安全教室（動画） ●手作りおやつ	１月	●手作りおやつ
８月	●カブトムシクワガタ講座 ●夏祭り ●映画鑑賞会（こうのすシネマ） ●水遊び（２回）	２月	●入室説明会 ●食育（食生活改善推進員） ●卒童遠足（相模湖モリモリ） ●手作りおやつ
９月	●手作りおやつ	３月	●お楽しみ会（卒童式） ●手作りおやつ

＜南放課後児童クラブ＞

４月	●保護者交流会	１０月	●手作りおやつ
５月	●手作りおやつ	１１月	●バス遠足（川口市立科学館、川口グリーンセンター） ●手作りおやつ
６月	●手作りおやつ	１２月	●お楽しみ会 ●手作りおやつ ●おかず提供 避難訓練
７月	●お楽しみ会 ●おかず提供、昼食提供 ●手作りおやつ ●保護者会	１月	●手作りおやつ ●おかず提供
８月	●夏祭り ●映画鑑賞会 ●昼食提供 ●水遊び（1 回） 避難訓練	２月	●手作りおやつ 入室説明会 食改によるおやつ提供
９月	●手作りおやつ	３月	●お楽しみ会 ●卒童食事会 ●手作りおやつ ●昼食提供




７月　保護者会（よつば・南　合同）




８月　カブクワ講座（よつば）



８月　映画観賞会（南）



８月　映画観賞会（よつば）



８月　水かけ（よつば・南　合同）



８月　お楽しみ会（よつば）









１０月　お泊り遠足（よつば）



１１月　学童遠足（南）



1/7　COOP 共済食育講座



12/26　避難訓練



2/7　入室準備説明会（よつば）



2/14　入室準備説明会（南）





2/23　卒童旅行（よつば）



3/30　COOP 共済食育講座（よつば）



３月　お楽しみ会（南）

・研修（南よつばの願い学童・南放課後児童クラブ）

実施日	テーマ	講師名	参加人数
5/14（水）～ 5/29（木）	**熱中症対策動画**（NHK 熱中症のキケンキキとカンリ） **夏の感染症予防動画**（薬剤師ぴよ　コロナと違い知っておくべく夏の三大感染症）	コドモン動画	１３名
6/19（木）	AED 講習 男女共同参画社会講習	埼玉県央広域消防本部 代表吉田大樹	９名
7/5（土）	アレルギー研修	小児アレルギーエデュケーター― 櫻井理恵子氏	９名
7/29（火）	避難訓練	鴻巣天神分署	児童含む ７０名
9/1・9/2 9/4・9/5	放課後児童支援員 認定資格研修（コース３）	埼玉県	１名
9/10・9/11 9/17・9/18	放課後児童支援員 認定資格研修（コース５）	埼玉県	１名
10/20（月）	衛生感染症食中毒(デリッシュキッチン　感染症対策に！衛生的な手洗いの方法)	コドモン動画	８名
10/27・10/28 10/29・10/30	放課後児童支援員 認定資格研修（コース８）	埼玉県	１名
11/18（火）	防犯対策研修（不審者対応）	鴻巣警察署	９名
11/28（金）	児童虐待対応力向上研修会	主催：鴻巣市 前東京成徳大学教授・埼玉県スクールカウンセラー石﨑一記氏	２名
12/21（日）	南よつば・南放課後 合同全体研修	代表吉田大樹・E テレ（生きる教育を君たちへ）	１０名
12/26（金）	防災研修・避難訓練	鴻巣天神分署	児童含む ７０名
1/21（水）	令和 7 年度放課後児童支援員等全体研修会 「人権尊重の社会を目指して」	鴻巣市教育委員会 学校支援課指導主事　苅谷紀子氏	１１名
1/22（木）	埼玉県放課後児童支援員等 資質向上研修（中堅者）	埼玉県	１名
1/28（水）	埼玉県放課後児童支援員等 資質向上研修（初任者）	埼玉県	５名
2/6（金）	埼玉県放課後児童支援員等 資質向上研修（管理者）	埼玉県	７名
2/2～2/28	放課後児童支援員 認定資格研修（コース１５）	埼玉県オンライン	１名





6/19　AED 講習




7/5　アレルギー講習




11/18　防犯研修



12/21　合同研修

２）こどもの居場所事業

2024 年８月から南よつばの願い学童の開室時間外を活用した居場所事業は、９月に「みんなのほっとプレイスよつば」としてリニューアルをした。コンセプトを「あなたがあなたらしくいられる　新しいみんなの居場所」とし、中高生年代限定の「ユースプレイスよつば」、親子向けの居場所「おやこ SPOT よつば」、パパ子向けの「ぱぱの場よつば」――という３つの居場所を展開している。

中高生年代限定の「ユースプレイス」は、第１・３水曜日夜を学習支援メインとして、第２・４金曜日夜を自由に過ごせる居場所メインとして設定し、南よつばの願い学童の卒童生を中心に毎回 10 名前後が参加している。

親子向けの「おやこ SPOT」は、第１日曜日の昼間に開催し、特にテーマは設けずに、自由に過ごしながら、保護者から日頃の子育ての話を聞いたり、相談事を聞いたりして、親子に寄り添う時間にしている。

パパ子向けの「ぱぱの場」は、第３日曜日の昼間に開催し、創作系のワークショップや料理のワークショップ、市内のキャンプ場を活用したデイキャンプなどに取り組みながら、参加者の交流を深めている。



チラシ



セブンイレブンのフードドライブ



１０月　ぱぱの場


１０月　おやこ SPOT



１１月　ぱぱの場
（馬室キャンプ場）



１２月　おやこ SPOT



1/7　ユースプレイス





3/1　おやこ SPOT





3/4　ユースプレイス





3/15　ぱぱの場